

事業概要【山形らしい「おもてなしの心」で全ての人々を受け入れ多文化共生社会を観光面から実現する「アクセシブルツーリズム」推進事業】

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	215,000千円 (83,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・年齢や性別、国籍、障がいの有無、宗教、生活習慣等に関わらず、すべての観光客を受け入れる「アクセシブルツーリズム」の推進に向け、①機運醸成・意識向上、②受入環境整備、③アクセス性向上の3本柱に一体的に取り組み、観光消費額の増加等を図る。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①機運醸成・意識向上 ・研修会の開催（委託料）：500千円 ・デジタル技術を活用した県内観光施設の情報発信（委託料、事務費）：3,500千円 ②ソフト・ハード両面の受入環境整備 ・観光地の広域連携モデルの検討（委託料）：7,500千円 ・県内観光関係事業者の施設・設備等整備への支援（補助金）：31,000千円、（審査委託料等）：1,500千円 ③県外からのアクセス性向上 ・仙台空港からのアクセスの充実強化及び情報発信（負担金）：39,000千円					    【主なバリアフリーマーク】  【リフト付き大型バス】	

■具体的な交付金の使途及び実施体制

事業内容（設備・備品）		支出方法	支援対象者	山形県 役割	事業推進主体 名称（関係性）		役割	委託先等 名称（関係性）		委託内容	連携市町村
アクセシブルツーリズム受入れ機運醸成・情報発信事業											
1	研修会の開催 ・観光事業者等を対象とした「アクセシブルツーリズム」に関する研修会の開催	委託料		・全体の統括業務、進捗管理 ・関係者との連絡・調整	（同左）			（公社）山形県観光物産協会	・観光事業者等を対象とした「アクセシブルツーリズム」に関する研修会の開催		
	デジタル技術を活用した県内観光施設の情報発信 ・県内における「アクセシブルツーリズム」の対応状況等の情報発信	委託料		・全体の統括業務、進捗管理 ・関係者との連絡・調整	（同左）		（公社）山形県観光物産協会	・県内における「アクセシブルツーリズム」の対応状況等の情報発信			
		需用費									
		役務費									
アクセシブルツーリズム推進支援事業（ソフト事業分）											
2	観光地の広域連携モデルの検討 ・観光地間の広域的な連携の促進や、観光客の利便性向上のための2次交通や案内機能の充実を図るため、地域事業者や市町村と共に地域課題を議論するプロジェクトチームを組織 ・同組織において、データの収集及び同データに基づく観光産業の稼ぐ力を底上げさせるモデル事業を実施	委託料		・全体の統括業務、進捗管理 ・関係者との連絡・調整	（同左）			民間企業（未定） （県からの委託）	・モデル事業の実施		
	補助事業審査業務の委託 ・アクセシブルツーリズムに対応した観光施設・設備等の整備推進のための補助事業（下記4に記載の事業）の実施に係る審査事務を外部委託	委託料		・全体の統括業務、進捗管理	（同左）			（公社）山形県観光物産協会	・事務局の設置・運営、助成金交付申請（実績報告）受付・審査事務、等		
全ての旅行者に対する山形県へのアクセス確保事業											
3	仙台空港からのアクセスの充実強化及び情報発信 ・仙台空港から山形県内への直行バスに係る運行支援及び利用促進キャンペーンを実施	負担金		・全体の統括業務、進捗管理 ・関係者との連絡・調整	やまがた観光キャンペーン推進協議会 （県からの負担金により実施）	・仙台空港直行バスに対する支援 ・情報発信					
アクセシブルツーリズム推進支援事業（ハード事業分）											
4	県内観光事業者が実施する施設・設備整備への助成	補助金	県内観光事業者	・全体の進捗管理 ・補助金の交付決定及び交付	（同左）						
	県内交通事業者が実施するリフト付き観光バス導入への助成	補助金	県内交通事業者	・全体の進捗管理 ・補助金の交付決定及び交付	（同左）						